

23. 8. 19【除染対策プロジェクト・チーム】

7月20日（臨時議会）以降の動き

○民家の除染実験（予算 10,000 千円）

・ 7月22～24日 霊山下小国松ノ口地区の3軒を行なった。個々の場所の線量は大きく下げることができた。空間線量は部分ほどは下がらなかった。バックグラウンドの関係もある。室内も、線量を下げることができた。

現在、本実験から単価等を作成中。

○学校の除染（予算 40,000 千円）

・ 校舎＝小国小学校（8月17～21日）を実施。

今後は、線量の高い松陽中学校、柱沢小学校、掛田小学校を行っていく。

・ プール＝柱沢小学校（8月9～12日）を実施。

今後は、水の汚染度が高い松陽中学校、月舘小学校、保原小学校を行っていく。

○通学路の除染（予算 30,000 千円）

・ 廃棄物の処分場所を検討しながら実施の予定。

○農地の除染（予算 30,000 千円）

・ 田中先生、アトックスと協力して8月24日に実証実験をしたい。

吸引法により、樹園地の土と草を取り除く。

水田は、休耕地を利用して実証実験をしたい（9月上旬・農林課）

○除染の説明会等

・ 7月21～25日、旧町単位で、町内会長（行政区長）を対象に行なった。

その後、富成地区（4回）を始め、各地域で説明会を開催。

どこでも、廃棄物の仮置きについてが問題になった。なかなか納得いただけなく、除染を進める上での課題となると感じた。

地域によっての温度差がある。高線量地域（霊山、月舘、保原の富成など）は早急に除染をしてほしいとの要望。比較的線量が低い地域は、除染に対しての必要性は感じつつも、すぐにでもという雰囲気ではない。

田中先生・・・当面は年間5mSvを目指すのが現実的＝1～1.5 μ Sv/h

伊達や梁川の空間線量は、すでに1～1.5 μ Sv/h 以下。

○国による除染モデル事業

国では、今後の除染のための評価・検証を行なうため一定の広さ（100m×100m）での実証実験を行なう。伊達市と南相馬市で、各1億円規模。伊達市では小国地区を想定。予備測定等を行い、実施は9月になる予定。